

オンライン連続セミナー <第2回>

ジェンダー視点から考えるコロナウイルス禍

新型コロナウイルス感染症の世界的流行（パンデミック）が、人々に健康上の問題だけでなく、社会的・経済的・政治的にも重大な影響をもたらしていること、政府の対応が必ずしもこれらの問題を改善するのではなく、むしろ悪化させる場合があることが、しだいに明らかになりつつあります。パンデミックが露わにしている根深い問題を明らかにし、考えるためのレンズのひとつが、ジェンダーの視点です。

このたびアジア女性資料センターでは、「新型コロナウイルス感染症とジェンダー 分断と差別ではなく、権利と連帯対応を」をテーマに、フェミニスト・ジャーナル『f visions』をリニューアル刊行しました。このリニューアル刊行を記念して「ジェンダー視点から考えるコロナウイルス禍」オンライン連続セミナーを開催します。

本セミナーでは、執筆者などをゲストにお招きし、本誌で伝えきれなかったことやその後の状況、今後必要な活動について聞きます。さらに、参加者の方たちと議論する場を作り、コロナ後の世界・社会をいかに生きていくかを考える機会にしたいと思います。

オンラインでどこからでも参加できます。ぜひ多くのご参加をお待ちしています。

*このセミナーは「JANIC グローバル共生ファンド」の助成金を受けて実施します。

第2回 ケア労働と新型コロナウイルス禍～いのちをつなぐ介護の現場から

2020年8月23日（日） 13:00~15:30

<スピーカー>

白崎朝子さん（介護福祉士・ライター）

伊藤みどりさん

（介護福祉士・はたらく女性の全国センター（ACW2）共同代表）

茨木尚子さん（明治学院大学社会学部教員）

開催方法：オンライン（Zoom）開催のため、
お好きな場所から参加できます。

参加費：一般：1,000円/回、
アジア女性資料センター会員・学生：800円/回

<お申込み方法>

申込み①とチケット購入②をもって、
申込み受付完了となります。

①申込み：右記QRコードから、
ご入力ください。

②チケット購入：申込み後（上記①）
画面に表示される購入サイトの
URLよりご購入ください。



新型コロナウイルス感染拡大により、厳しい局面に立たされている介護現場。特に、ケア労働を担う介護従事者（ホームヘルパー）・ケアワーカーの多くが女性です。ケア労働の現状や、介護保険制度の構造的問題、ケアを受ける当事者のことなどについて、現場の声を聴き、ジェンダー視点で考えてみませんか。



【次回予告】
第3回は
9月に開催予定！

「労働/非正規雇用/
ひとり親世帯」（仮）
がテーマです！

【問い合わせ・主催】

特定非営利活動法人アジア女性資料センター ※なるべくメールでご連絡ください。

メール：ajwrc@ajwrc.org 電話：03-3780-5245 <http://www.ajwrc.org/>